

~~静~~ 静

空読の人関係

愛といつても9月 人それそれ

表現の仕方でもうささる

このごろ二平 不しで しほしは流しの子供

いじめの用題 ひととよとい 世の中は静、静と

思いついた水 昔あふすうたが

眼をうろてしすうた といふのは物語である

ていふ ぞしてほんの五下りあふすうたが

友人にその話をきいた時 静かと思ふ、それが

友への話にあると夫とうすくりかすうた時

我が子をいじめるとき

それでおどろいのはいかな

私自身 成人になつて リカ 母はいじめる

うけた

結婚した時 結婚は母の送る約束がき

結婚 静かといふ中 静かといふ中、こ

た 静かといふ中、こ

もか これいふかといふ中、こ

夕方とすると買物か心を不うすか 涙をふく

高橋 街へ行つた

店

乙

母は伊水端の上のりか

父が母屋へまいつい、そのが母屋のりか

もう一つお舎に 敏敏 引手平がつかう

手取しいき舞はなうた

此はお舎が父家だうた、ことけりか

私もお舎の知りた、でも福福な生活が早く

う、おとが 中々お舎のたのびるうか

今に取つてけ 少おるうか

人向園清は 家族にしろまうかい